県内の相談窓口

こころとからだの相談

●みやぎ心のケアセンター　月～金（祝日、年末年始を除く）8時30分～17時

基幹センター	☎022-263-6615
石巻地域センター	☎0225-98-6625
気仙沼地域センター	☎0226-23-7337

●お近くの保健福祉事務所　月～金（祝日、年末年始を除く）8時30分～17時15分

仙南保健福祉事務所	☎0224-53-3132
仙台保健福祉事務所塩釜総合支所	☎022-365-3153
仙台保健福祉事務所岩沼支所	☎0223-22-2188
仙台保健福祉事務所黒川支所	☎022-358-1111
北部保健福祉事務所	☎0229-87-8011
北部保健福祉事務所栗原地域事務所	☎0228-22-2118
東部保健福祉事務所	☎0225-95-1431
東部保健福祉事務所登米地域事務所	☎0220-22-6118
気仙沼保健福祉事務所	☎0226-21-1356

●宮城県精神保健福祉センター

こころの相談電話　月～金（祝日、年末年始を除く）9時～17時	☎0229-23-0302
面接による相談（予約制）月～金（祝日、年末年始を除く）8時30分～17時	☎0229-23-1603

●仙台市精神保健福祉総合センター（はあとぽーと仙台）　※仙台市民の方が対象です。

来所相談（予約制）月～金（祝日、年末年始を除く）8時30分～17時	☎022-265-2191
電話相談はあとライン　月～金（祝日、年末年始を除く）10時～12時　13時～16時 金曜日　10時～12時　精神科医による精神医学相談を実施	☎022-265-2229
電話相談ナイトライン　年中無休　18時～22時	☎022-217-2279

子どもの相談　※18歳未満

●宮城県子ども総合センター（宮城県内の方）　☎022-784-3576

●お近くの児童相談所

▶仙台市内の方	仙台市児童相談所	☎022-718-2580
▶仙台市以外の県中央・県南圏域の方	宮城県中央児童相談所	☎022-784-3583
▶大崎・栗原圏域の方	宮城県北部児童相談所	☎0229-22-0030
▶石巻・登米圏域の方	宮城県東部児童相談所	☎0225-95-1121
▶気仙沼圏域の方	宮城県東部児童相談所気仙沼支所	☎0226-21-1020

被災者健康調査
子どものアンケート結果報告
宮城県石巻市雄勝・牡鹿地区
仙台市若林区仮設住宅
平成27年1月初版発行

発行責任者…研究代表者　辻　一郎
発　　行…仙台市青葉区星陵町2-1
東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野
東北大学医学系研究科地域保健支援センター
tel：022-717-8124／fax：022-717-8125

※この調査は、厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策総合研究事業「宮城県における東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査」(H24–健危–指定–002(復興))、(H25–健危–指定–002(復興))によるものです。

UD FONT　このパンフレットの本文には、誰もが読みやすいように工夫されたユニバーサルデザインの文字を使用しています。

被災者健康調査
子どものアンケート結果報告

宮城県石巻市雄勝・牡鹿地区
仙台市若林区仮設住宅

東北大学 医学系研究科
地域保健支援センター

ごあいさつ

調査にご協力いただいた方々へ

東日本大震災から３年半余が過ぎました。この間、ご自身の生活再建やお子様の教育などで、さまざまなご苦労があったことと思います。改めて皆様にお見舞い申し上げます。また、日ごろから被災者健康診査にご協力いただいておりますこと、厚く御礼を申し上げます。

さて、東北大学医学系研究科地域保健支援センターでは、厚生労働省の研究費により、仙台市・石巻市との共同事業として、18歳未満のお子様と保護者の方々を対象に、被災者健康調査をほぼ半年ごとに実施しております。

私たちは、皆様とお子様の状況やご意見・ご希望などを匿名化したうえで両自治体と厚生労働省に報告しています。それをもとに、さまざまな被災者支援策が作られています。この調査にご協力いただける方がもっと増えれば、よりよい被災者支援策につながると思っております。より多くの方々のご協力をお願い申し上げます。

これまでの調査からわかったことを、このパンフレットでは紹介しています。心身の健康こそがすべての基本であり、生活の再建・地域の復興も健康から始まります。皆様とお子様の健康づくりにご活用いただければ幸いです。

東北大学医学系研究科
地域保健支援センター長
辻　一郎

もくじ

回答者数<実績>…… 1
健康状態について…… 2
震災直後の治療中断について…… 3
学校生活の変化について…… 3
こころと行動の変化について…… 4
高校生の睡眠とストレスについて…… 8
保護者のストレスについて…… 9

回答者数〈実績〉

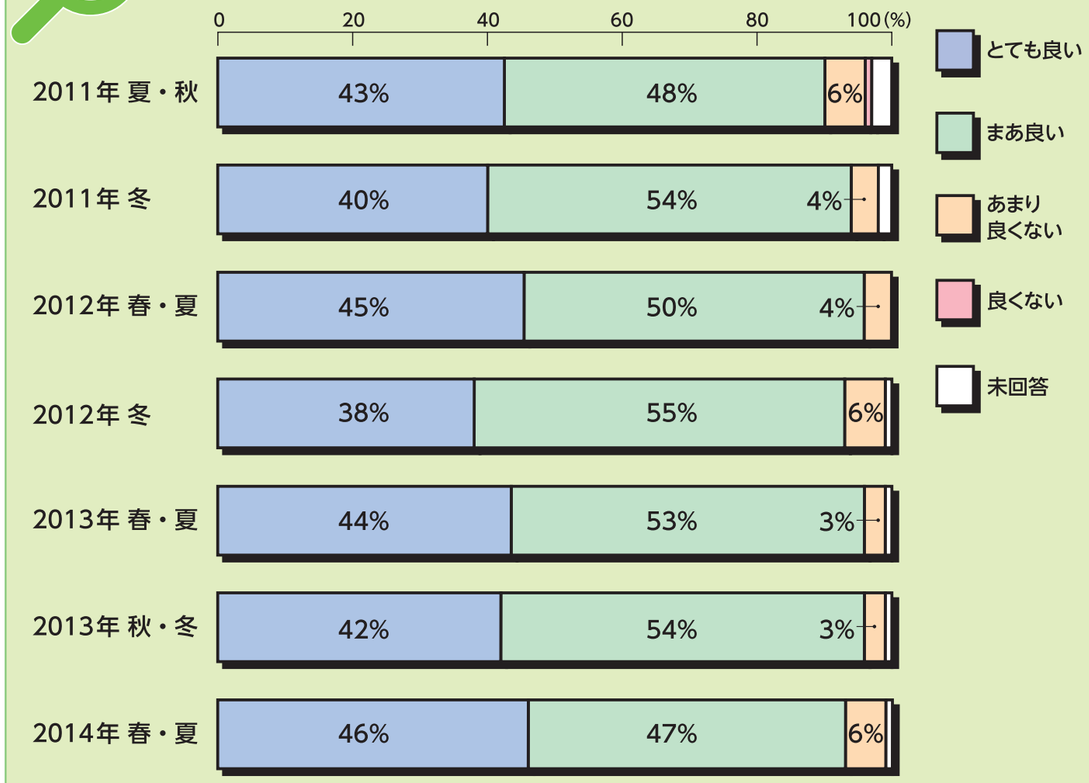
地区	期	実施年月	アンケート回答者数					
			0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生相当	合計
石巻市雄勝地区	第1期	2011年 7・8月	13	26	65	57	68	229
	第2期	2012年 2月	9	26	63	55	66	219
	第3期	2012年 7・8月	17	21	69	47	77	231
	第4期	2012年 11・12月	16	19	62	46	71	214
	第5期	2013年 6・7月	14	18	63	48	59	202
	第6期	2013年 11月	20	22	64	48	63	217
	第7期	2014年 6月	17	19	61	40	66	203
	回答者総人数							312

地区	期	実施年月	アンケート回答者数					
			0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生相当	合計
石巻市牡鹿地区	第1期	2011年 10月	29	43	92	69	69	302
	第2期	2012年 5・6月	46	44	95	65	71	321
	第3期	2012年 11・12月	43	53	89	60	59	304
	第4期	2013年 5・6月	35	43	85	43	64	270
	第5期	2013年 11月	31	56	93	44	61	285
	第6期	2014年 5・6月	24	48	89	61	59	281
	回答者総人数							400

地区	期	実施年月	アンケート回答者数					
			0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生相当	合計
仙台市若林区	第1期	2011年 9・10月	10	9	19	19	5	62
	第2期	2012年 2月	10	11	26	19	18	84
	第3期	2012年 9月	2	8	18	19	9	56
	第4期	2013年 2月	5	9	18	15	7	54
	第5期	2013年 8月	4	11	19	18	11	63
	第6期	2014年 1月	2	14	20	19	11	66
	第7期	2014年 7月	2	10	16	11	11	50
	回答者総人数							109

健康状態について

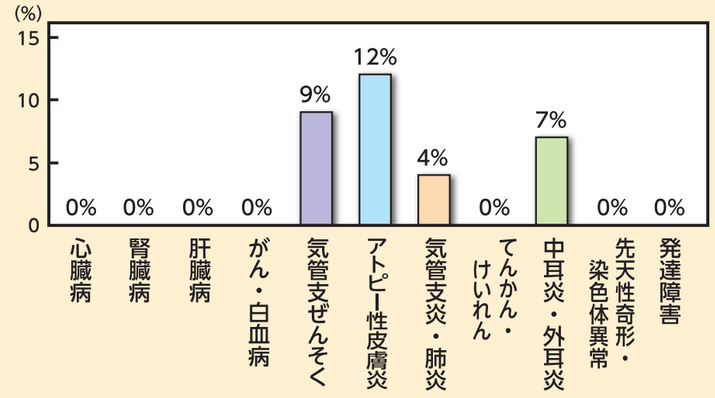
調査でわかったこと　調査対象：0歳～高校生相当の方



健康状態が良い（とても良い＋まあ良い）方が、震災後から2014年までに常に90%を超えています。震災後もお子様の健康が保たれていたことがわかります。

震災直後の治療中断について

調査でわかったこと　調査時期：2011年夏・秋　調査対象：0歳～高校生相当の方



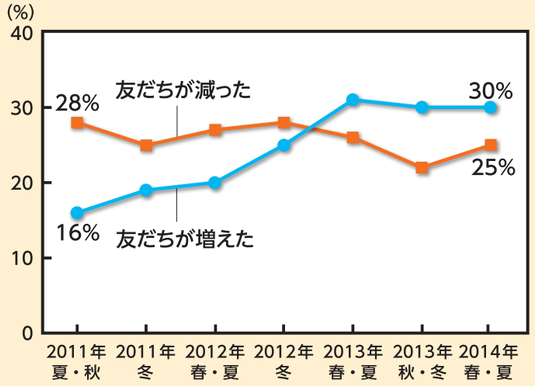
震災の影響で、治療が中断した方は10%以下でした。病気別では、アトピー性皮膚炎や気管支ぜんそくなどのアレルギー疾患が目立ちます。

災害・緊急時の備え

外出時は服用中の薬をいくつか持ち歩く。保管場所を家族で共有しておく。薬の名前や用法などを覚えておく（薬や薬情報提供書をメモする、携帯電話に写真を撮っておく）などの工夫をして備えましょう。

学校生活の変化について

調査でわかったこと　調査対象：小学生～高校生相当の方



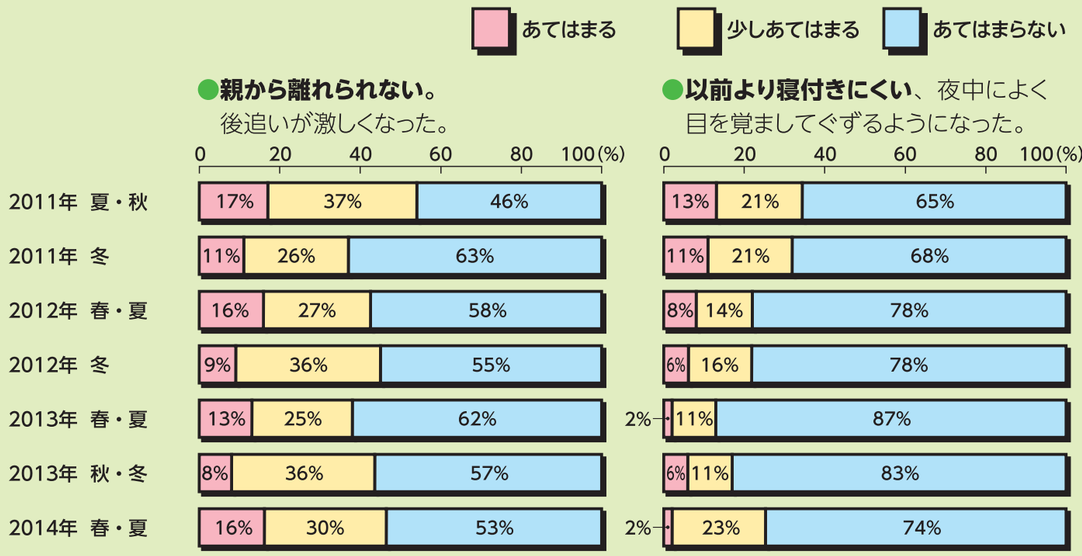
「友だちが増えた」方が増えてきています。転居、進学などによって変化した学校生活に適応されている様子がわかります。

また、友だちが転居してしまった、仮設住宅に年齢の近い子どもがいないなど、「友だちが減った」方もまだ多くいます。子どもどうしのつながりが保てるように支援していきましょう。

こころと行動の変化について

調査でわかったこと

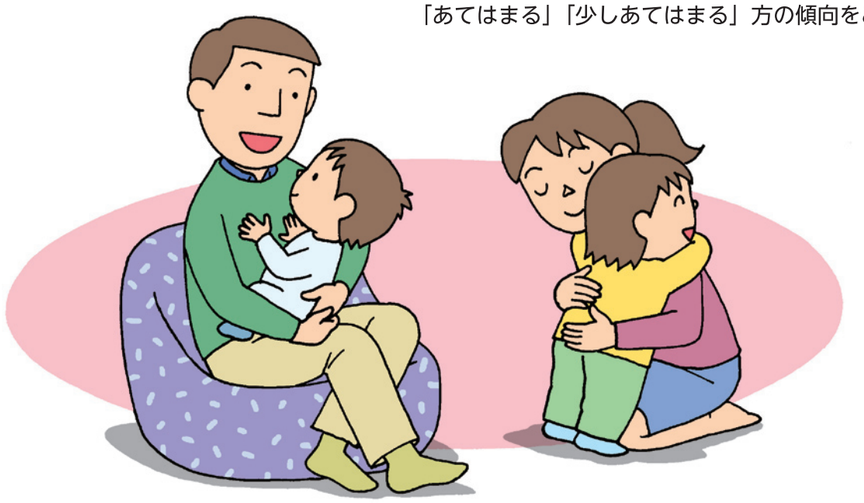
0〜2歳



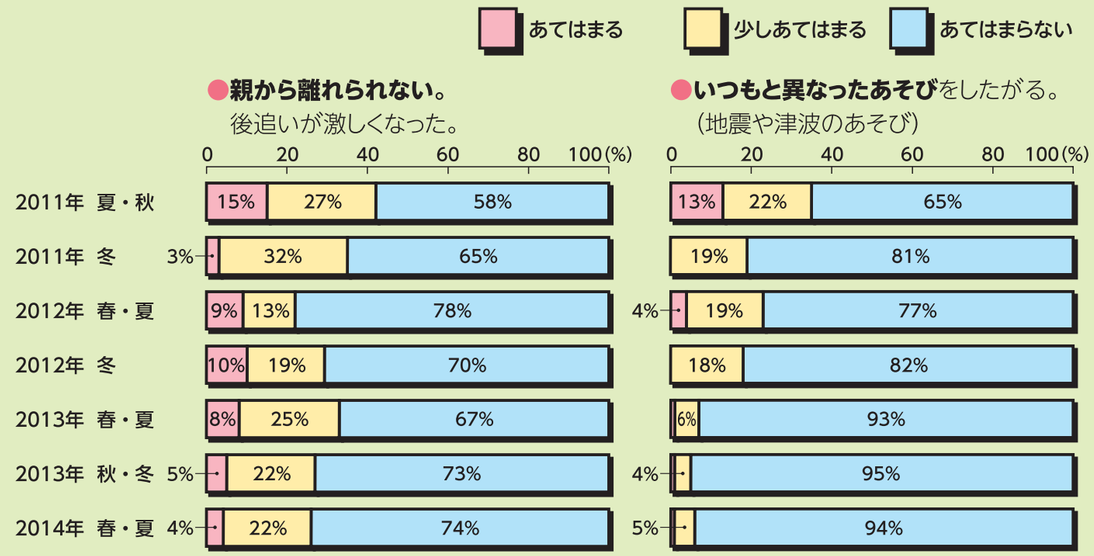
親から離れられないについては震災の影響はみられませんでした。**以前より寝付きにくい**は、徐々に減少しています。

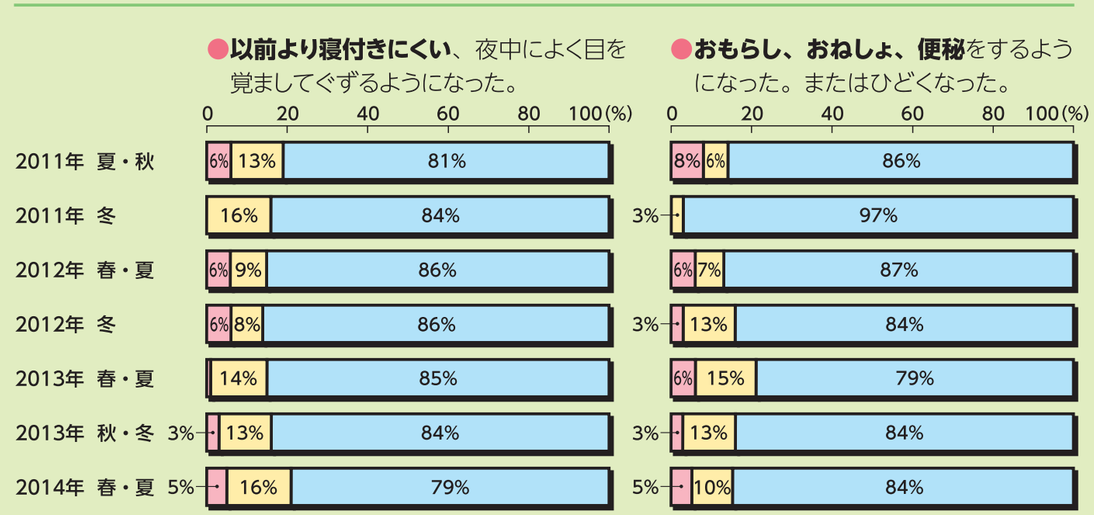
※０〜２歳の対象者には、震災後に誕生された方も含まれています。

「あてはまる」「少しあてはまる」方の傾向をみています。



3〜6歳



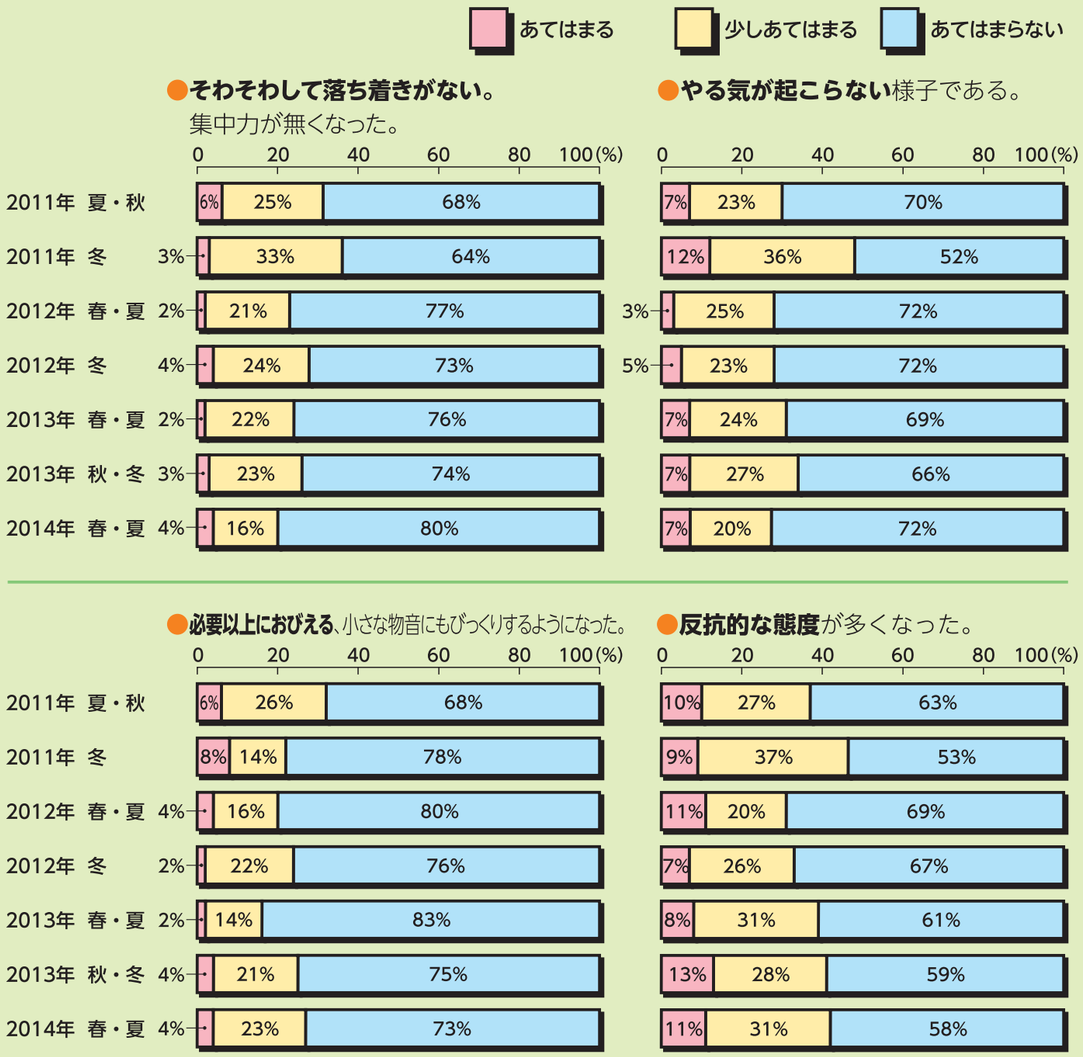


親から離れられないと**いつもと異なったあそび**は減少しています。**以前より寝付きにくい**と**おもらし、おねしょ、便秘**については震災の影響はみられませんでした。

こころと行動の変化について

調査でわかったこと

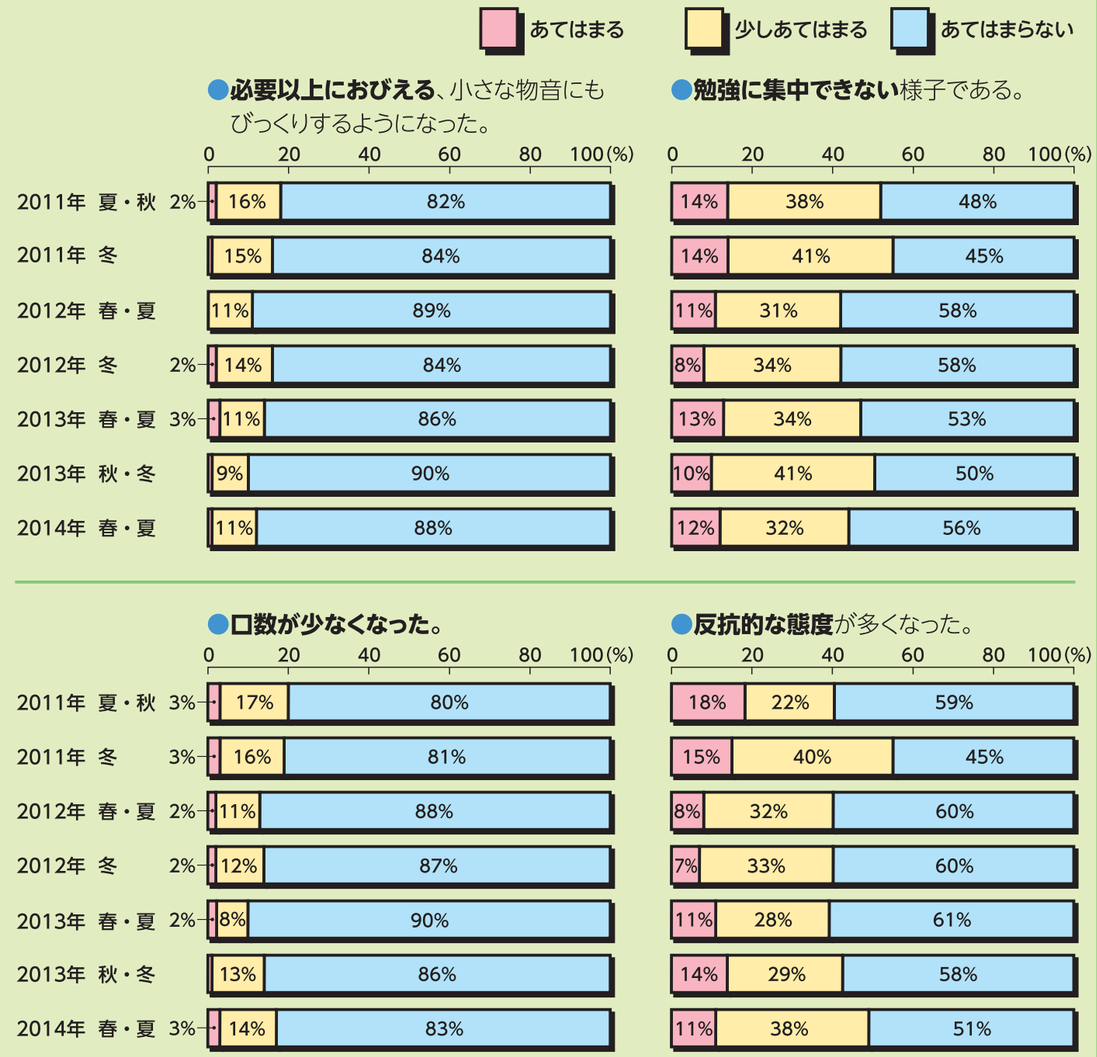
小学生



そわそわして落ち着きがないと**やる気が起こらない**は時間とともに減っています。**必要以上におびえる**と**反抗的な態度**はいったん減った後、再び増加しています。子どもの話に耳を傾け、楽しみにしていることを続けさせてあげましょう。

調査でわかったこと

中学生

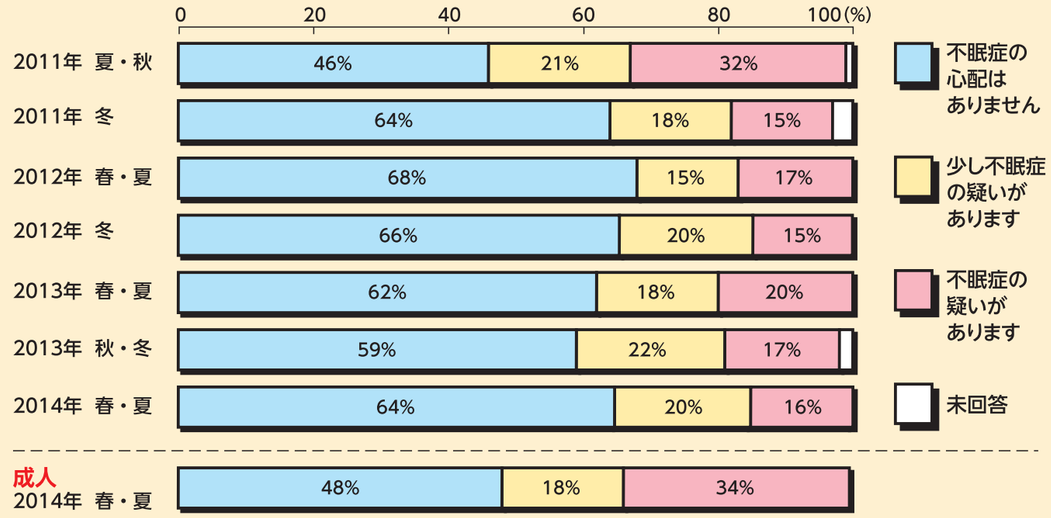


必要以上におびえると**勉強に集中できない**は時間とともに減っています。**反抗的な態度**ではいったん減った後、再び増加しています。子どもの話に耳を傾け、友達と過ごす機会を尊重し、成長を見守っていきましょう。

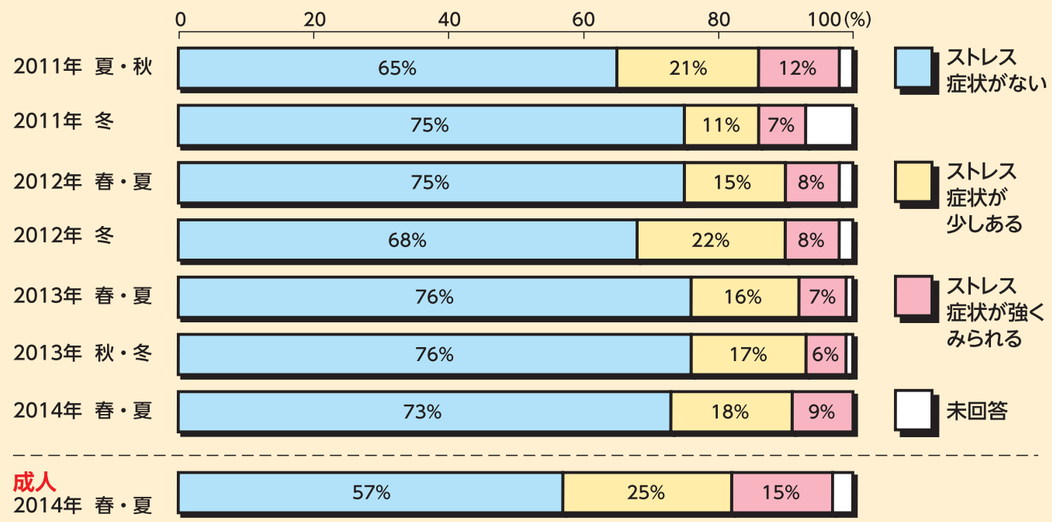
高校生の睡眠とストレスについて

調査でわかったこと

◆睡眠の状況



◆ストレスの状況

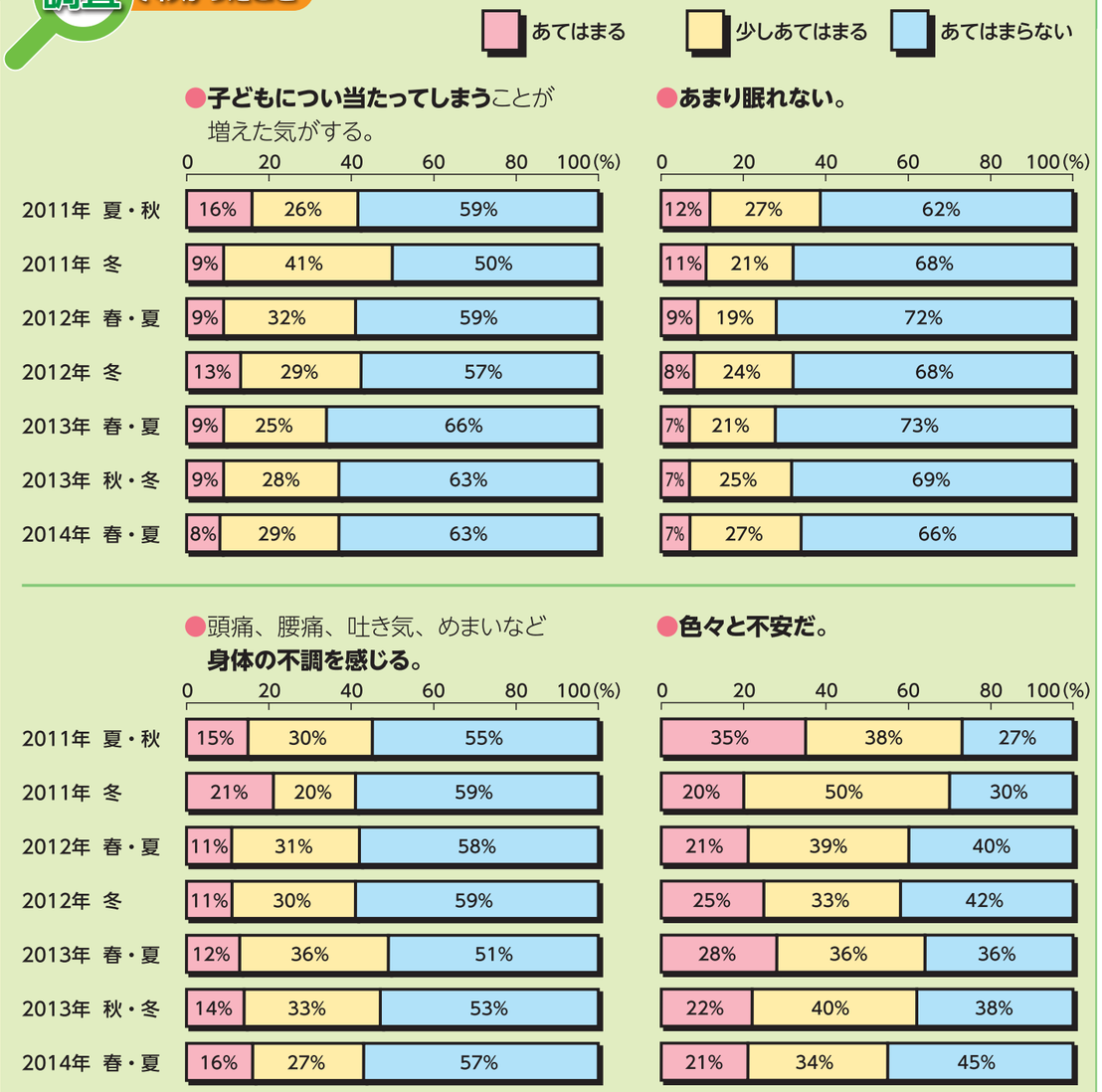


「不眠症の疑いがある」「ストレス症状が強くみられる」（ピンク）は時間とともに減っています。成人の結果に比べるとどちらも状態の良い方が多いのがわかります。

保護者のストレスについて

調査でわかったこと

調査対象：0歳～中学生の保護者の方



子どもについ当ってしまうは減少しています。**あまり眠れない**、**身体の不調を感じる**には減少がみられませんでした。**色々と不安だ**は減少しているものの、まだまだ不安を感じている方が多くみられます。子育てをしながらの生活再建は大変なご苦労だと思います。がんばりすぎて、体調を崩してしまうこともあります。大人自身のケアも心がけてください。